



こんにちは

白子の議会

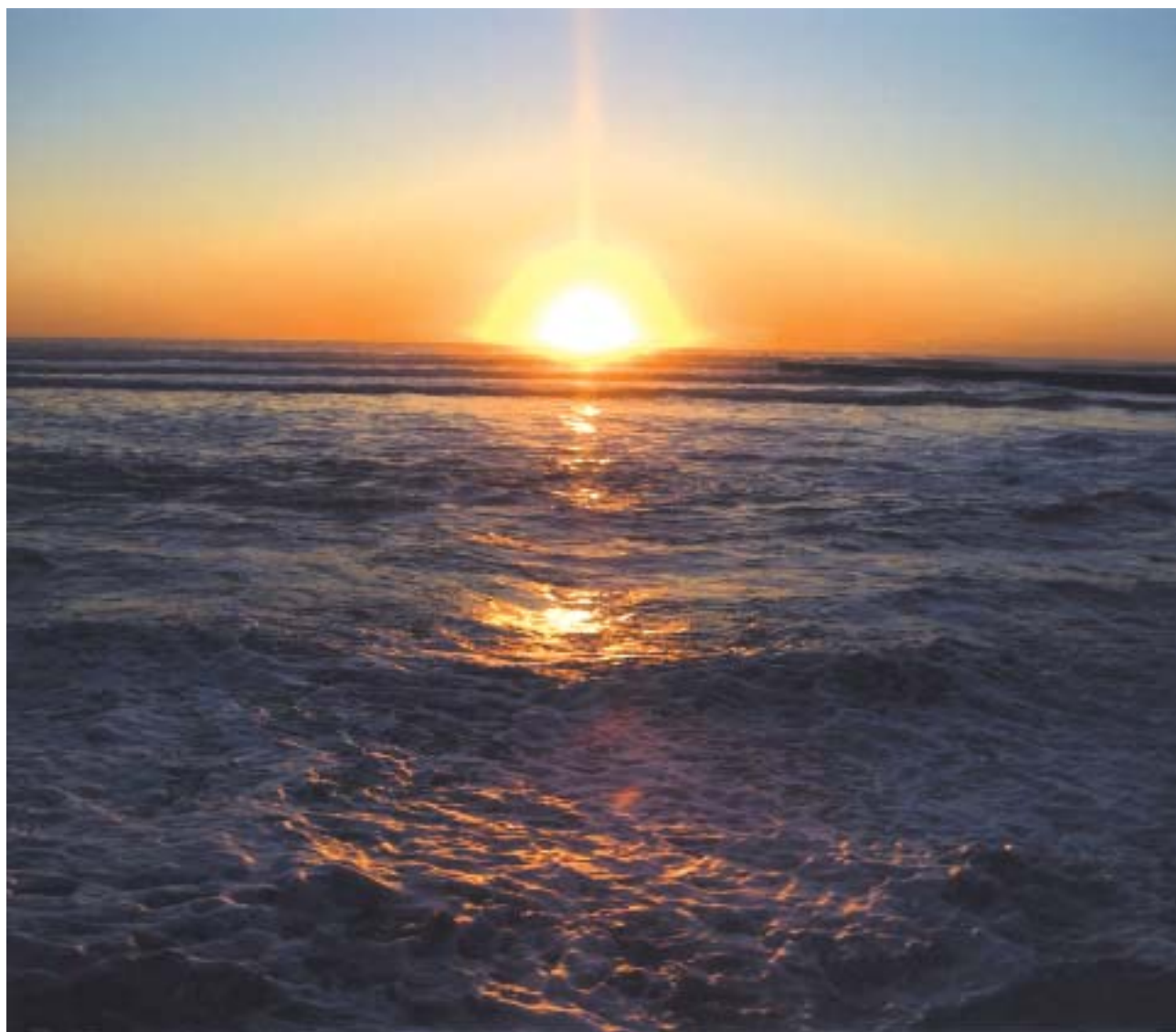
です

第91号

平成21年2月1日

編集発行
白子町議会

☎ 0475(33)2111



白子海岸 日の出

第4回定例会

一般質問は、2名の議員が町政を質しました…2～3ページ
平成19年度一般会計・特別会計決算認定について…4～6ページ

一般質問

町政をきく

今回の一般質問は2名が登壇し、新年度予算編成、文化、介護、産業振興などについて質しました。

来年度の予算編成について

北田頼光議員

議員 町では長期的視野から第四次総合計画骨太の方針が示されました。その中で、多様化する住民への対応のため、町民と行政の協働による効果的かつ効果的な事業が必要とみられる。どの様な対応が伺います。

さらに研究を進め

町長 自主自立の考え方を浸透させ確実に行政運営をしていかなければと思つてますが、町民と行政の協働はその土台となるものと、認識してます。協働、一緒に働くという参加意識は芽生えて来てはいるが、まだ成長していない段階だとみてます。反面、福祉を中心に二十五のボランティア団体が自主的に活動の成果を上げており、また、農地水環境保全事業のように旧来からの農村の協力意識を活用した制度ができ、

まちづくりを支える成果も上がつています。

ハード面としては、スポーツの町にふさわしい体育施設、老朽化した教育施設の更新などを計り、研究を重ねていきます。

1%アップの根拠は

議員 来年度に目標をかかげた税収納率1%アップの根拠は。

地道な努力を重ね

町長 税を収める。教育を受ける。働くこと。

これは国民の三大義務と言われてます。

残念ながら白子町の税収納率は県下ワースト五に入っており、十九年度は三・四九%アップとなるが下から三番目に。その修正は地道に努力を重ねていきます。また、負担金、補助金、委託料等の削減は限界にきている

が、可能な限り努力をしていくつもりです。

文化財保存について

議員 文化の創造より先代から伝わる伝統文化が町民文化の基本にありその保存継承に努め、若い世代へ伝承の機会を設け、その活動を進めていく。また、新たな取り組みを通して先導的な役割を担っていく。と示している。白子町無形文化財の指定のいきさつと、行政側からの指導体制を伺います。

積極的に支援を行う

教育長 郷土の芸能的文化や歴史の再確認、有形無形の文化財の保存を図ることを目的とし、白子町文化財の保護に関する条例を規定しています。無形民俗文化財にはそれぞれ古来より伝承されて来たものであり、郷土芸能として後世に伝えていくことの趣旨からで、獅子舞、御田植祭、祭ばやしなど六件が現在指定さ

れてます。

行政側からの指導、管理の体制は、後継者育成を含めた伝承活動をしていただく方針ですが、近年の事業実績等を見ますと保存活動は低調の団体が見受けられ、一昨年より各団体長との聞き取り調査や将来展望などについて話し合い中です。

町としては財政的な援助を引き続き行うとともに、小学生からの加入や地区を越えての募集、また映像等による記録の保存を積極的に助言してゆきます。



南日当獅子舞

米粉製粉機導入

どのように活用するのか

市川隆子議員

議員 長生農協本所に米粉製粉機が設置され、住民も利用できるようになりました。

全国的には、米粉の利用が増えているそうですが、一時的なブームで終わらせないために町ではどのように取り組むのか伺います。

積極的に活用

町長 千葉エコ農産物緊急支援対策事業で製粉機を設置し、十一月十八日から稼働開始しました。今、軌道に乗りつつあるところで、学校給食や、一般の方への普及など、積極的に活用をしていきたいと思っています。

学校給食の米粉パン回数増やすのか

議員 給食の米粉パンは、



導入された米粉製粉機

米粉パン増やし値上げはしない

町長 試行導入して結果は問題なく、試食での評価も高かったもので、今後は全部使っていくつもりです。そのために給食費の値上げはできないので、工夫してコストを吸収していきたいと思っています。

米粉はブームに終わらせることなく、定着させていくつもりです。

介護保険料見直しによる改正は

議員 年老いた夫婦で支えあう老老介護や、ひとり暮らしで介護してくれる人のいない高齢者も増えていきます。介護を必要とするすべての人の人間らしい生活を支える介護サービスを実施し、介護を受ける人も支える人も安心できる環境づくりが求められています。

二〇〇九年四月からの見直しに向けての検討がすすんでいると思いますが、保険料の改正はあるのか伺います。

三千三百円が
三千八百円に

町長 現時点で、六十五歳以上の方は、第四段階で三千八百円で五百円、率にして十五%の上昇に

なります。

高齢者人口の増加による認定者の増と介護報酬三%アップを考慮してあります。本来なら上昇幅はもっと大きくなるのですが、介護給付費の準備基金五千万円を使い、四百二十二円ほどの軽減をし、上げ幅を縮小したいと思っています。

施設入所はいつ？待機者数は

議員 今、大変な思いで家族介護をしている方もいます。在宅が無理になったので施設にお願いしたいと思っても、入所できるのはいつになるのか。在宅は無理、施設もだめというのが現状です。町では、現在何人くらいの方が待機しているのか伺います。

小規模特養・グループホーム整備を予定

町長 特別養護老人ホームへの入所希望者は四十

七人です。

第四期事業計画で、小規模特養ホーム（二十九名以下）と、認知症対応型のグループホーム（十八名分）の整備を予定しており、公募で事業者を選定する予定です。

地域包括支援センターの活動状況は

議員 要支援の方を含めて、必要なとき相談のできる地域包括支援センターの果たす役割は大きいと思いますが活動状況は、

身近な相談窓口として浸透

町長 平成十九年度で、相談件数三百十四件。休日、夜間対応もして高齢者の身近な相談窓口として浸透している状況です。今後は、地域ネットワークづくりに力を入れながら活動していきます。

平成十九年度決算審査

特別委員会審査結果報告

委員長 三橋昌好

◇九月定例議会において審査を付託された、平成十九年度各会計は、次の指摘要望事項を付して原案のとおり認定することに決定されました。

審査の対象

平成十九年度一般会計
外五特別会計決算

審査の方法

予算執行状況が、事務事業が計画どおり執行されたか、また効果等について審査を行いました。

指摘要望事項

一、一般会計においては収入未済額、不納欠損額が、このまま続くと健全な財政が支障をきたすことは明らかである。税の徴収方法については、更なる強化を望む。歳出では、全体としては効率的な予算執行がされている。今後の財政運営に当たっては財源の確保に努め、有効かつ適切な運営と健

全財政を保持し、町民福祉の向上のために積極的な行政施策を推進されるよう望む。

二、国民健康保険事業特別会計については、保険税は国保会計の根幹をなす財源であるので、徴収に当たっては、今後とも適切な手段をもって収納に一層の努力を望む。



三、老人保健事業特別会計については、後期高齢者医療制度が平成二十年度から新設され事業形態が、変わるが引き続き円滑な推進を望む。



四、介護保険事業特別会計については、実施から八年目であり、事業は円滑に行われている。今後とも、保険料の徴収に努め、事業の運営に万全を期することを望む。

五、休養施設特別会計については、平成十九年度に指定管理者制度を導入。経営体系には、望ましい姿になったと思われるが、施設の運営等については、

受託業者との協議しながら、有効利用の推進を強く望む。

六、ガス事業特別会計については、安定した利益経営を継続している。

ガス事業を取り巻く経営環境は厳しい状況が予測される中、環境に優しい天然ガスの利用を活用した営業活動を積極的に展開し、業務の効率化を図り、経営健全化に努め、経営環境の変化に迅速に対応し、公営企業としての使命を果たすよう望む。



決算に対する 反対・賛成討論

【一般会計・ 反対討論】

市川隆子議員

平成十九年度一般会計
決算の認定について反対
の立場から討論いたしま
す。
私が今、町の事業の中
で最も評価できると思う



元気いっぱいの子供達

のが病児保育であります。
これは、補助と医者との協
力が無ければできない事
業です。子供の具合が悪
くとも休みが取れない親
にとっては本当に助かる
制度です。ただ、残念な
ことは、要介護者に対す
る障害者控除申請の手続
きの方に周知するのをや
めて広報だけのお知らせ
になってしまったことで
す。今、委員長報告にも
あったように、町の収入
未済額、不納欠損額が、
このまま続くと、財政の
硬直化も免れません。

また、住民の暮らしが
今、非常に厳しいという
状況の中で、町は国の方
針通りではなく、文字通
り住民の防波堤となり住
民の暮らし、福祉を守り
安心して暮らせるまちづ
くりに取り組むことを求
め、反対討論といたしま
す。

【賛成討論】

今関勝巳議員

私は、本案に賛成の立
場から討論いたします。
本決算は、決議された
予算計画に基づき各般に
わたり着実に効率的に予
算執行されております。
経常経費率、公債費率に
おいても通常財政構造の
健全化が保たれ、まさに
健全財政といえます。
歳出面においても、福
祉関係は、堅実に事業が
展開され、産業・建設、
教育関係など事業計画ど
おり執行されており努力
されていると思われま
す。また、係数及び内容
においても、決算審査特
別委員会の報告におい
ても適

切であると認定されてお
ります。執行部は、決算
審査特別委員会の要望事
項等に十分留意されるこ
とを望み本案に対して賛
成討論といたします。

【国民健康保険事 業会計反対討論】

市川隆子議員

国民健康保険特別会計
決算の認定に対し反対の
立場から討論いたします。
町の国保世帯は所得の少
ない方も多く、その結果、
高い国保税が払えずに滞
納してしまうという世帯
もあります。

そして、滞納世帯には
資格証明書が発行されて
います。幸いにも子ども
のいる世帯には発行され
ておりませんが、実態が
分かっているのであれば、
払えない世帯については、
申請減免などの方法も考
えるべきではないでしょ
うか。国保財政の悪化は
国の責任もあります。国
に対し負担割合をもとに
戻すよう強く要望するこ
とを求め反対討論といた

【賛成討論】

三橋吉辰議員

私は、本案に賛成の立
場から討論いたします。
国民健康保険は制度創
設以来、国民皆保険制度
の基盤をなす制度として
重要な役割を担っている
ところであります。

しかしながら、急速な
少子高齢化が進む中、医
療施設整備充実、医療技
術の高度化に伴う医療費
の増加、さらに、低所得
者を多く抱える構造的な
要因により厳しい状況が
続いておりますが、本会



長生病院

します。

計は、現状を踏まえ、被保険者が安心して医療をうけられるよう運営されており、また医療費の削減対策としては、保健福祉課との連携で、基本健診をもとにヘルスアップ事業、保健指導等を積極的に実施し、効果を上げつつあります。

よって、私は本案に賛成するものであります。

【介護保険事業 会計反対討論】

市川隆子議員

介護保険特別会計決算の認定に対し反対の立場から討論いたします。

高齢者二人世帯、あるいは日中、高齢者二人の介護世帯では、保険料は年金から引かれていても利用料負担が重く、サービスを控えたり施設を利用したくても空きがないなどで、在宅介護をし、体力も気力も限界という方もいます。介護保険制度は、介護を社会で支えることで、できた制度です。誰もが、利用しやすい

い制度でなければならぬと、思います。そのためにも低所得者対策の実現を求め反対討論いたします。



特別養護老人ホーム はまひろがお

【賛成討論】

宗島慶明議員

私は、本案に賛成の立場から討論いたします。

介護保険制度は、法律の施行から八年が経過し、地域の高齢者の生活を支える社会保障制度として、多くの町民が支持するまでに成長してまいりました。平成十九年度には、町の責任のもと、地域の

高齢者の生活を支えるための中核機関として地域包括支援センターが社会福祉協議会に設置され、要支援者を対象とした予防給付のケアプランづくりや、高齢者の自分らしい生活を支援するための総合相談や、権利擁護といった各種事業を実施し、地域ボランティア等との協働により地域に開かれた高齢者支援の拠点として活動を行ってきたことは、高く評価できます。今後六十五歳以上の人口が急増し、介護を必要とする高齢者も増加すると予測される地域社会にあつて、介護予防に効果的な各種の施策を展開し、介護保険料や自己負担の増大を招かぬよう、そして、要介護状態にある方や、その家族に対しては、利用しやすい良質の介護サービスを提供する制度へと発展するよう要望し、賛成討論といたします。



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は3月の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。TEL33-2111/FAX33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

十二月定例議会も、無事終了し、我が町も第四次総合計画が提出されました。

世界経済の陰りと国内経済の混乱は、地方自治においては、白子町の財政にも多大な影響を及ぼすであろう。

本格的な少子高齢化社会の到来により、民生費の支出は増大しており、投資的経費は益々減少すると推察される。幸いにも今回の総合計画は町担当職員による手作りの計画書である。

白子町の現状に合った基本構想を、行政、議会が一丸となり、町政の健全な発展と運営を進めて行ける様、議員一同力を合わせて頑張ります。

『為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり』

板倉正道